

平成24年度

幼児期から小学校への接続調査・研究事業 報告書

幼児期から小学校への接続期の
すべての子どもが楽しく学ぶために



奈良県教育委員会

平成24年度幼児期から小学校への接続調査・研究事業報告書

はじめに

現代は、子どもを取り巻く社会が大きく変化し、子どもの育ちには基本的な生活習慣の欠如、自制心の希薄さなど様々な課題がみられます。

さらに、子どもが幼稚園や保育所から小学校へ進む際、教員や友達との関係をうまく築けなかったり、学習意欲を低下させたりするなどの学校に適應できない子どもがいる、いわゆる「小1プロブレム」が様々な調査で報告されています。

これらの課題解決に向けて、幼児期の教育と小学校教育が、それぞれの段階における役割と責任を果たすとともに、子どもの発達や学びの連続性を保障するため、両者の教育の円滑な接続を図っていくことが求められています。

このような中、本研究所では、平成23年度に「幼児期から小学校への接続期実態調査」を行いました。この調査から、幼稚園・保育所・小学校は互いに円滑な接続の重要性は認めながらも、物理的な距離や幼児期の教育と小学校教育の違いに起因する教職員間の心理的な距離などにより、連携や接続が十分に図れていないという現状が明らかになってきました。

この結果を踏まえ、今年度は、幼稚園・保育所・小学校の交流・連携を活性化し、接続を円滑にするためのプログラムの作成を目的とした「幼児期から小学校への接続期調査・研究事業」に取り組みました。

この報告書では、接続プログラムが目指すもの、幼稚園・保育所・小学校が交流・連携を進める際の具体的な留意点、パイロット校・園・所での取組の概要をまとめています。

本報告が幼稚園・保育所・小学校が連携を深め、幼児期の教育から小学校教育への子どもの育ちをつなげていくための一助になればと考えています。

最後に、本事業の実施に御指導・御協力いただきました愛知教育大学久野弘幸准教授、パイロット校・園・所の方々をはじめ、関係市町教育委員会の皆様方に厚くお礼申し上げます。

平成25年3月

奈良県立教育研究所

所長 富岡 将人

目 次

はじめに

1	就学前後の教育の現状と課題 (平成23年度実施「幼児期から小学校への接続期実態調査」から)	1
2	就学前の教育に求められるもの	1
3	小学校入学当初から夏休み頃までの教育に求められるもの	3
4	奈良県の接続プログラムについて	3
5	小学校入学前後の子どもの「生活」の接続	4
6	接続プログラムが目指すもの	5
7	パイロット校・園・所の取組の様子	7
	(1)各パイロット校・園・所の特徴	7
	(2)各パイロット校・園・所の取組(概要)	7
	(3)五條市立五條小学校・五條幼稚園での取組	10
	(4)五條市立北宇智小学校・北宇智保育所での取組	18
	(5)香芝市立鎌田小学校・鎌田幼稚園・みつわ保育所での取組	26
	(6)田原本町立田原本小学校・田原本幼稚園・(社)愛和会 宮古保育園での取組	34
8	幼稚園・保育所・小学校が連携して交流活動を進める上での工夫 Q&A	40
9	スタートカリキュラムの作成について	43
10	小学校入学当初の子どもの指導 Q&A	48